

令和 2 (2020) 年度 登録コンクリート圧送基幹技能者認定試験
合格基準および総評について

令和 3 年 3 月 31 日

登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会

【合格基準】

択一式問題	25 問、50 点満点
計算問題	4 問 (解答数計 15 題)、30 点満点
記述式問題	問題 1 (800 字)、13 点満点 問題 2 (400 字)、7 点満点

- ① 択一式問題、計算問題、記述式試験の合計得点数が 50%(50 点)以上
 - ② かつ、択一式問題の得点数が 60%(30 点)以上
 - ③ かつ、計算問題の得点数が 8 点以上
 - ④ かつ、記述式試験の合計得点数が 50%(10 点)以上
 - ⑤ かつ、記述式問題 1 の得点数が 50%(6.5 点)以上
 - ⑥ かつ、記述式問題 2 の得点数が 50%(3.5 点)以上
- 以上①～⑥の得点数をすべて満たした者を合格とする。

受験者数 15 名 合格者数：6 名 合格率：40.0%

【総評】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、例年 8 月後半に実施していた登録講習・試験を中止し、本年度は追試試験を受験できる資格を持つ方々だけを対象とした認定試験のみを実施しました。

その試験も、当初は 1 月開催の予定を緊急事態宣言の発令に伴い、3 月に延期して実施することとなり、受験された皆さまにおかれましては、感染防止対策や体調管理にお努めいただきながらの試験、たいへんご苦勞をいただいたことと思います。

合否判定は、一部の試験が大変よくできていても、一つの結果が判定基準を満たしておらず、残念な結果となった受験者もいます。資格認定には、すべての内容についての理解を必要とします。不合格となった受験者の皆さまの再度のチャレンジを期待しています。なお、各試験の判定の結果、以下に気になった点を示しますので、今後の参考にしてください。

- ・ 択一式問題については、建設業許可などの建設業法の基本的な事項や、建設キャリアアップシステムなどの最近の建設業界の施策への理解が足りていないと感じました。登録基幹技能者を受験する方の中には、将来経営者層を目指す方々も少なくないと思います。知識の習得に努めていただきたいと思います。

また、圧送条件と管内圧力損失 (K 値) との関係、アウトリガに作用する機種ごとの荷重など、圧送技能者として知っておくべき事項の理解が足りていないと感じました。講習テ

キストである「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」をよく学習し、再度のチャレンジに備えてください。

- ・計算問題については、圧送距離に応じてかかる圧送負荷から、使用する圧力区分ごとの輸送管の長さを選定する方法、配管作業における水平換算距離の算定など、圧送計画の実務に必要な項目が理解されていない方が多いと感じました。圧送作業に必要な計算に関する知識の修得を心掛けてください。

登録基幹技能者に必要な計算の知識は、3日間の講習を受けただけで習得できるものではありません。講習テキストである「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」や過去の問題に取り組み、圧送作業に必要な計算に関する知識を修得し、再度のチャレンジに備えてください。

また、これから登録基幹技能者を目指す皆さまにおかれても、受験に向けて過去の問題や「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」で事前の学習に努め、自分が解らない箇所・質問したい箇所について事前に整理をした上で、講習に望むようにしてください。

- ・記述式問題については、文字数が書けているものの、出題されている内容（暑中コンクリート、登録基幹技能者としての対策）について少ししか書かれていない答案がありました。また、書かれている対策の方法が、登録基幹技能者としてふさわしくない内容のものがありました。

このほか、字数が大幅に足りない答案も見受けられました。

択一式問題が高い得点であっても、記述式問題の答案が書けておらず残念ながら不合格となった方がいます。登録基幹技能者の業務は、現場や元請会社への提案力が必要とされることから、過去に出題されている問題で訓練を重ね、再度のチャレンジに備えてください。

また、これから登録基幹技能者を目指す皆さまにおかれても、事前に過去の試験問題にチャレンジして、受験に向けた答案練習をしっかりと積んでほしいと思います。

- ・試験の合格者にはさらなる研鑽を積まれることを希望するとともに、残念ながら今回不合格となった方々には、次年度に再度のチャレンジを期待しています。追試試験だけでなく、もう一度講習から受け直すことも合格への近道ですので、どうかご一考をお願いいたします。